

全力を出すこと

苦勞体験から心身のたくましさを

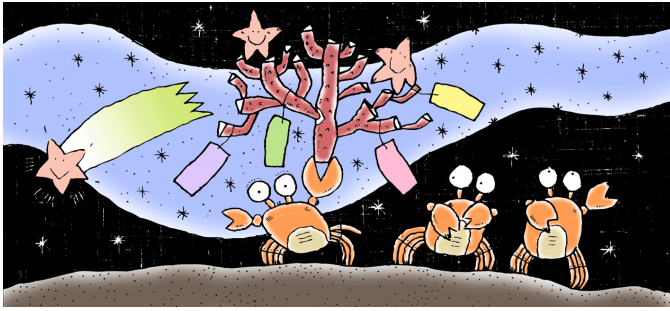
三地区大運動会も成功裏のうちに無事終了しました。広いグラウンドに並ぶ、たくさんのテントや周辺道路の駐車状況は、市内の小学校でもなかなか見られない、圧巻の光景だと思えます。大会そのものの企画運営の方々だけでなく、シャトルバスでのピストン輸送や、事故防止のために会場外でも支えてくださる方がいました。敷地内に駐車され、自分の家の車の出入りに支障をきたしたというお話も聞きましたが、幸いにも寛大な対応をしていただき、頭の下がる思いです。

子ども達は「全力を出して走りぬく」ことを常に指導してきました。どんなに早くても、どんなに遅くても、80m～100mを全力で走る子ども達でいてほしいからです。本校の子ども達は、やさしい子達です。統合以来、取組み合いのけんかをする場面を見たことがありません。学年、男女関係なく、なかよく関りあう姿がいつでも見られます。これは、家庭や地域の皆様が温かいまなざしや慈しみの心で子ども達を育ててくれた賜物だと思えます。しかし、もっともっと困難に立ち向かい克服する経験を積み重ねてほしいと思う時もあります。

聞いた話なのですが、「1kmという距離に対して、歩こうとするのが都会の人、車で行こうとするのが地方の人」だということです。確かに、私たちはちょっとした所でも、簡単に車で出かけます。都会は電車やバスなどの交通機関が、網の目のように張り巡らされ便利なのですが、交通機関を降りてから、結構な距離を自然に歩いています。首都圏にある、大きなショッピングセンターに行ったことがあります。アウトレットや専門店などが三つのモールに分かれていて、3階建てになっています。売り場のはじからはじまで数百メートルの距離があります。つまり、店内を全て歩くと、数キロの距離を自然に歩くことになります。当日、家族それぞれで店内を見て歩くことにしたのですが、私は一つのモールを歩くだけで精一杯。途中のベンチで疲労回復を図りながら、家族が来るのをじっと待つことになりました。その後昼食を食べようと最上階の飲食街に行ったものの、長蛇の列。酒田市内の行列のできるラーメン屋さんよりも長い列に、うんざりして、食欲そのものが消えてしまいました。気の短い性分のせいもありますが、「じっと待つ」ということも都会の人に比べればまだまだ辛抱が足りないなと思えました。20代の頃は、2時間以上もリフト待ちしてスキーをしていたのですが。

当地区でも車は必須のアイテムです。時間と疲労を大幅に改善してくれます。子ども達にとっても、車なしでは様々な不便が生じます。反面、今の大人たち（特に脱脂粉乳で育った世代やそれ以前の方々）が子どもの頃から培われてきた経験を踏まえられないまま、生まれつき車に依存している世代に対しては、心身の成長面での不安を感じてしまいます。例えば、昔は学校に行くのに家族から送ってもらうことはほと





んどありませんでした。雨の日も風の日も地吹雪の日も、列を組み、上級生が下級生の面倒を見ながら、学校に通いました。かんかん照りの日も、流れる汗とどののどきで耐えながら、とにかく歩きました。着いた先で、蛇口を思い切り回して、水ががぶ飲みすることを想像しながら我慢しました。

6月10日から、4、5年生の鳥海高原家族旅行村で自然教室を実施しました。5年生は初日に玉簾の滝駐車場から、草津経由で家族旅行村までの約9kmを歩きました。東平田の大平から県道を通って天真幼稚園までが9km弱の距離です。長距離を歩くこと、喉の渇きに耐えて歩くこと、汗をいっぱいかかせること、そして困難を克服しての満足感や爽快感、自己肯定感などをねらいとしたものです。ゴールした時に、今まで普通に飲んでいた水の旨さを感じさせたいという思いもありました。計画の段階では、途中でくじけそうな子や歩けなくなる子も出ることや、時間も3時間以上かかるものと想定していました。しかし子ども達は、坂道を5キロ以上も登ってきたにもかかわらず、足取り軽く、2時間あまりで家族旅行村に到着しました。途中給水程度の休息しか取らずにできたことも驚きでした。やればできる子ども達だなと感心した所です。来年も、のどの渇きやめまいと戦い、やり遂げた後の水の旨さと達成感。克服する体験など、もっと苦しい試練の克服体験が必要かなと考えている所です。

精一杯汗をかいて体を動かす生活が地域でも見られたらいいと思います。学校でも天気のいい日は外遊びへと声かけしております。屋内でのゲームだけでなく、外遊びをたくさん経験させてください。また、家族で出かける機会がありましたら、車を降りて歩く機会や自然体験（夕焼けや星空観察、採集活動等）を設定するなど、自然体験にもチャレンジしてみたいと思います。

*



かけがえのない

「いのち」を大切に

夏休みに向けて県教育委員会からの通知が入っております。少し早いのですが、学区内には水に関わる施設やこれからの天候状況を想定して、早めに皆様にお知らせいたします。

- 1 交通事故・水の事故・火や山の事故・熱中症の防止→交通法規を確認
- 2 不審者による声かけ等の事案・不審電話等の被害防止
→すぐに警察へ
- 3 インターネット等の危険性の周知→携帯端末・ゲーム機は「持たせた親」の責任です
- 4 緊急時の迅速かつ適切な連絡方法の確認→平田小安心メールの活用も
- 5 規則正しい生活リズム（食生活、就寝時刻）の実践→夏は一層乱れがち

特に道路交通法の改正により、信号無視や一時不停止などの危険行為を反復する自転車運転者への安全講習の義務化や自転車事故の加害者への高額賠償など、子どもたちにとっても必要な法令や判例が出ております。お家でもご指導をお願いします。

